

## メロンのトロ箱による養液栽培【島根大学連携研究】

メロンのトロ箱による養液栽培を始めました。

魚の出荷に使用されるトロ箱を20mほど並べ、中には専用の用土を入れて栽培を始めました。タンクから必要な量の養分が点滴チューブによって流れてきます。この栽培方法は、データがとりやすい、管理しやすい、土からの病気がないなどよい点がたくさんあります。

また、コンソーシアム先である島根大学生物資源科学部浅尾俊樹教授にご指導を受けています。浅尾教授は、医学部と共同で腎臓病患者さん向けに低カリウムメロンを作っておられ、浅尾教授と生物生産科の担当者は次の「機能性メロンを作ろう」と話し合っております。



肥料の入った養液タンク



タンクからトロ箱へ向かうチューブ



全長20mほどです



土での栽培と違い調査しやすいです